

平成 29 年 2 月 9 日

各 位

会社名 築地魚市場株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉田 猛  
(コード番号 8039 東証第二部)  
問合せ先 取締役執行役員  
経 理 部 長 大竹 利夫  
(TEL 03 - 3541 - 6312)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年12月計上の特別利益並びに直近の業績動向を踏まえ、平成28年11月8日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正することを、本日の取締役会において決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 79,000	百万円 15	百万円 80	百万円 70	円 銭 31.19
今 回 修 正 予 想 (B)	78,000	△60	10	630	280.72
増 減 額 (B-A)	△1,000	△75	△70	560	—
増 減 率 (%)	△1.3	—	△87.5	800.0	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期)	78,155	242	292	974	43.43

注. 上記表中、1株当たり当期純利益の数値は、前期実績は株式併合前の、前回発表予想(A)及び今回修正予想(B)は株式併合後の株式数で算出しております。

#### 2. 修正の理由

平成29年3月期第3四半期累計期間は、大衆魚である「するめいか」、「さば」、「秋さけ」などの鮮魚類の不漁による入荷減少や、消費低迷等による冷凍・塩干品の取扱量の減少等、また第4四半期会計期間においても、引き続き鮮魚類を中心に漁模様が悪く入荷が低迷しており、売上高は前回発表の業績予想数値と比較して10億円程度下回る見込みです。収益面でも、上記売上高の減少や卸売部門における利益率の低下、並びに、築地場内冷蔵庫の収益の悪化もあり、前回発表の業績予想数値と比較して75百万円の営業損益の悪化、経常損益も同様に悪化が見込まれます。

平成28年12月21日発表の『投資有価証券売却益(特別利益)の計上に関するお知らせ』の開示資料、並びに、本日発表の四半期決算短信に記載のとおり、第3四半期において、投資有価証券売却益を特別利益として633百万円計上いたしましたので、親会社株主に帰属する当期純損益は上記予想のとおり増加いたします。従いまして、通期の連結業績予想を上記のとおり修正するものであります。

なお、豊洲新市場に関わる費用並びに移転延期に伴って発生する費用については、東京都から補償される見込みであり、平成29年3月期の当社グループの業績への影響は軽微であります。

以 上